

石橋栄実先生 声楽公開レッスン

日本を代表するソプラノ歌手であり、大阪音楽大学教授の石橋栄実先生を招き、本校の音楽科の声楽専攻の生徒2名の公開レッスンを行いました。

日時：令和6年10月15日（火）

場所：本校 芸術棟 第1演奏室

公開レッスン①



岩木 柚歌(3年)
ベッリーニ：
Ma rendi pur contento
小松 耕輔：母



・今回のレッスンを聴講して、ブレスの使い方はとても重要なのだと再認識できました。歌う前に、音のイメージをもつことや、出したい音色にするための準備をするということは理解していましたが、ブレスへの意識はありませんでした。ブレスと1音目の関係を深く考えて、これから練習するときに確認していきたいと思いました。

・‘n’の発音について、口の中での舌の位置を確認しながらのレッスンはとても参考になりました。‘n’でも単語によって発音の仕方が違うことを意識していなかったと反省しました。‘m’ ‘b’ ‘p’の発音についても詳しく解説していただきました。正しいイタリア語の発音で歌えるように、唇や舌の使い方を大切にしていきたいです。(生徒の感想より)

公開レッスン②

川部 夏希(3年)
ルツツイ：Ave Maria



・私はピアノ専攻なので息を使う楽器ではないけれど、ピアノを演奏するときもブレスは大切に考えて練習しています。先生の『ブレスの後の音の高さと響きをイメージしてから入る』ということを実践してみたいと思います。私は息でなく手を使うので、指の先々まで正しい力を行き届かせて、イメージした音が出せるようにしていきたいです。

・私は管楽器専攻ですが、『音の高さや響きをイメージし、その音に対して最適なブレスをとる』ということを取り入れていきたいと思いました。また、1音目の方向性やブレスのポジションを常に意識して、石橋先生の歌声のような音色が出せるようになりたいと思います。(生徒の感想より)

♪石橋栄実先生 ミニコンサート♪



(Piano 伊藤 友依/加納高校音楽科卒業生↑)



～Program～
ジオルダーニ
Caro mio ben
ロツシーニ
フィレンツェの花売り娘
なかにしあかね
のろくても
秋のあじさい
今日もひとつ

・石橋先生のコンサートでは、美しくひびく歌声に魅了されました。語頭か語尾までの言葉の丁寧さや、深みのある音楽がとても素敵でした。特に、日本歌曲では伝えたいことが心にすんと落ちてきて、私もそんな演奏ができる歌手になりたいと強く思いました。

・石橋先生のまっすぐで透きとおるような歌声は本当に素敵でした。イタリア歌曲も日本歌曲も、それぞれにちがった魅力を感じました。日本歌曲では、私の心に響いてきて感動しました。私も石橋先生のように、人を感動させられる演奏家になりたいです。(生徒の感想より)



今回の公開レッスンでは、大阪音楽大学のみなさまにご協力いただきました。貴重な機会をありがとうございました。